開成学園排球部 OB 会　会報

第３４号

目次

１．活動報告及び今後の活動予定

２．平成２８年度役員人事

３．会計報告

４．中学戦績

５．高校戦績

６．お知らせ

７．**創部 70 周年行事について**

１．活動報告及び予定

平成２８年	１月３日	新年練習会
	２月	第 OB 会会報発行
（以下活動予定）		
	４月３日	麻布定期戦　@麻布高校体育館
	６月	OB 総会
平成２９年	１月３日	新年練習会

◎第３３回開成麻布定期戦報告

年度も開成、麻布双方の OB の皆さま方にご協力いただき、第３３回開成麻布定期戦が開催されました。今年の定期戦は念願かなって竣工して間もない麻布高校の新体育館のこけら落としとして、記念すべき大会の開催に至りました。満開の桜も春の雨に花びらを散らす中、伝統の一戦に大勢の両校 OB が集いました。開成高校は昨年に果たした 10 連勝という記録を断ち切らないべく、現役から OB の諸先輩方まで気合十分で麻布新体育館に向かいました。

例年通りの開会式には、麻布にとっても新体育館での記念すべき大会ということで麻布中学校・高等学校の平秀明校長先生が足を運んでいただき、ご挨拶を頂戴しました。平先生のお話では、伝統ある麻布高校のあらゆる部活の中でも、こうして現役から OB まで世代を渡っての交流が続いている活動は麻布・開成のバレー部の他にないとのことでした。両校の伝統の重みを再確認したところで、両高校のキャプテンによる元気のいい選手宣誓が行われ、新体育館という最高の環境での大会がスタートしました。

例年麻布の体育館はバレーのコートが１面しか取れなかったのですが、新体育館では２面を広くとることができたので、一方では試合、もう一方ではアップやエキシビションマッチを行ってスムーズで余裕のある進行が可能となりました。そして開成のさらなる連覇のカギを握る第一戦である中学生の試合から始まりました。両チームともまだ攻撃にはそれほど威力がない分、若さを発揮した粘り強いバレーで応援する高校生や OB も白熱しました。中学生の試合ではサーブが命運を分けることが多いといいますが、一時は麻布の連続得点に苦しめられるシーンもありましたが、負けじと安定しつつあるレシーブからコートの奥を狙ったスパイクを何本も決め、見事に第１戦を勝ち切ることができました。

勢いづいた開成は、続く超 OB 戦に臨みました。昨年惜敗を喫し、リベンジに燃える開成の先輩方は、衰えを知らぬプレーを一球目から見せてくれました。麻布のサーブに対して、老練なレシーブから安定したトス、そして目の覚めるような強打を決め、今年は譲らないぞとプレーを通して言っているかのような闘志のたぎる幕開けとなりました。しかし対する麻布もそれにこたえるように、超 OB 戦とは思えないような強打を連続して決め、両者譲らない一進一退の攻防を繰り広げました。さすがは現役時代

に厳しい練習を乗り切ってこられた両校のOBの先輩方だけあって、守備の安定度や戦略性は先ほどの中学生の試合とは別格でした。こちらのスパイクも相手のすばらしいブロックに阻まれ、苦戦する場面がいくつもある中、フェイントで得点を重ねていくなどして、開成は例年にも増してレベルの高い試合を制することができました。

そして先輩方から総合優勝のかかったタスキを受け取り、OB戦が始まりました。卒業してからも大学の部活や同好会でバレーボールを続けるものが多く、今年も十分攻撃力のそろったチームで挑むことができました。受験勉強で体が鈍っているOBから大学でプレーの幅を広げたOBまで選手層の豊富なOBチームは、両サイドを軸にした攻撃で得点を重ね、さらにクイックやバックアタックを使ったコンビネーションも冴えわたり、点差をしっかりキープしたまま1セットを先取しました。そしてメンバーを大きく交代して臨んだ第2セットもなおリードを保ち、難なく勝利を収めることができました。20代を中心とした世代も積極的に定期戦に参加しているので、社会人になってもなるべく皆で参加して超OB戦の勝利に貢献できたらと思う次第です。

ここまで全勝をしてきた開成は、完全優勝をかけて高校生の試合を残すのみとなりました。開成は中学時代にJOC(日本オリンピック委員会)の東京都代表に選ばれ全国制覇したメンバーの一員である中島や高校キャプテンの桃井を中心に高さと攻撃力のあるチームとなっており、5月に控える関東予選に向けて仕上げている中、負けの許されない勝負に気合十分で挑みました。序盤から高さのあるスパイクを連続して決めリードするも、麻布はエースにボールを集めて得点を奪い返されなかなか点差が広がらない一進一退の試合展開。そこで試合を動かしたのは中島のブロックでした。その後も麻布の攻撃に開成のブロックがうまくついていくことで思うように攻撃させず、開成の早い攻撃を練習通りに決め、そのまま第1セット、第2セットと少し余裕をもって勝利することができ、開成の完全優勝となりました。

その後は場所を移して懇親会が行われました。先程まではライバルとして勝利を賭けて熱戦を繰り広げましたが、終了のホイッスルが鳴り響いた後には、数十年来の良き友の姿がそこにはありました。ＯＢはお酒を飲みながら麻布・開成の同期同士現役時代の思い出を振り返りながら懐かしい話に花を咲かせていたようです。そして話に一区切りついたところで両校エールの交換を行い、今年の健闘を称え合いつつも来年の再戦を誓いました。

今回で第33回となる開成麻布定期戦ですが、広い新体育館での開催ということもありいつにもまして練習や試合を多くでき、環境が十分に整ってこれからの継続にも期待を持てる大会となりました。しばらく定期戦にお顔を出されていない方も、ぜひ他のOBの方にお声かけをして次回の開成麻布定期戦に参加していただきますよう、心よりお待ちしております。

文責：岡田

◎若手 OB 新年会

2016 年 1 月 3 日に、若手の OB による新年交流会が開催されました。この交流会は OB と現役が試合をして交流をはかることで、現役が卒業しても開成バレー部に関心を持ってくれるように、また OB にも現役を見てもらえるようにと毎年基本的に 1 月 3 日に開成の体育館で開催しているものであり、OB にとってはかつての仲間とバレーボールをするいい機会となっています。新年会当日は高校生と OB の真剣勝負や、中学生チームと OB2 人の試合(失点すると次の二人に交代)、さらに OB 同士の試合など様々な形式で試合を行い、どれも現役・OB ともに白熱して非常に有意義なものとなりました。その後 OB は懇親会に移り、長時間にわたり思い出話や現在の話に花を咲かせました。OB にとっての新年会としてだけでなく、現役にも幾分いい刺激となったことと思います。

２．平成２８年度役員人事

役員

顧問	栗原　弘	先生
	奥山　茂樹	先生
	宮　利政	先生
	須藤　俊文	先生
名誉顧問	伊藤　清一	先生
相談役	吉村　功	(S26 卒)
	進藤　定夫	(S30 卒)
	石束　晃一	(S34 卒)
	安井　高明	(S37 卒)
	山本　純一	(S38 卒)
	佐藤　勇	(S40 卒)
	結城　教仁	(S43 卒)
	田中　俊一	(S43 卒)
	片野　昭秀	(S44 卒)
会長	桑田　起義	(S45 卒)
会長代行	小川　宗男	(S45 卒)
副会長	矢澤　俊彦	(S48 卒)
	市村幹司郎	(S50 卒)
	関　茂和	(S54 卒)

幹事長	岡田　健吾	(H24 卒)
会計幹事	田沢　優	(H9 卒)
監査幹事	関　茂和	(S43 卒)
総務幹事	溝口　晃	(H21 卒)
	藤井　遼介	(H22 卒)
	松本　裕太	(H22 卒)
	米内　柾人	(H23 卒)
	小枝　滉斗	(H24 卒)
	中村　凌大	(H25 卒)
	田中　圭	(H26 卒)
HP 管理幹事	溝口　晃	(H21 卒)
高校コーチ	上原　廉次郎	(H27 卒)
	桑田　理駒	(H26 卒)
中学コーチ	守屋　一樹	(H26 卒)
	御代川　慎司	(H26 卒)

年度幹事

24年～27年	吉村　功（26卒）	50年	松下 和正	H8年	鈴木　周
29年～30年	進藤 定夫（30卒）	51年	上野 雅資	H9年	宮　利政
31年～32年	明渡 久和（31卒）	52年	老川 功明	H10年	川原 希彦
34年	石東 晃一	53年	野口 恭司	H11年	楓 淳一郎
35年	平松 久和	54年	関　茂和	H12年	川原 尊徳
36年	三崎 哲郎	55年	高浪 孝勝	H13年	丸崎　玲
37年	安井 高明	56年	鈴木　章弘	H14年	勝井 政博
38年	山本 純一	58年	藤森 光章	H15年	丹野 敬大
39年	鈴木 康之	59年	清水 誠一	H16年	森 禎三郎
40年	佐藤　勇	60年	草野 昌行	H17年	浅川 洋貴
41年	西山 祐二	61年	津野 泰明	H18年	梶原　啓
42年	片野 清昭	62年	奈村太久馬	H19年	金田 涼佑
43年	結城 教仁	63年	和知 敏樹	H20年	加登 翔太
44年	片野 昭秀	H1年	小木曽和宏	H21年	溝口 晃
45年	小川 宗男	H2年	和里田 聰	H22年	藤井 遼介
46年	西村　隆	H4年	神波 泰夫	H23年	徳田 大輔
47年	松田 信彦	H5年	古野 徳一	H24年	小枝 滉斗
48年	矢澤 俊彦	H6年	鈴木 大輔	H25年	中村 凌大
49年	高塚 義弘	H7年	依田 秀則	H26年	秋山 貴則
				H27年	上原 廉次郎

３．平成２７年度　会計報告

平成 26 年度 収支報告書　平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

科目	金額	科目	金額
（支出の部）		（収入の部）	
春夏合宿援助費	¥120,000	年会費	¥400,000
現役強化費	¥190,000	受取利息	¥5,084
コーチ交通費補助費	¥40,000	永峰氏寄付金より繰入	¥100,000
通信費	¥80,840		
麻布定期戦費	¥20,000		
文房具費	¥4,645		
事務費	¥20,000		
慶弔費	¥4,000		
幹事会費	¥6,804		
送金手数料	¥2,590		
小計	¥488,879	小計	¥505,084
サーブマシン購入費	¥567,000		
計	¥1,055,879		
次年度繰越金	¥3,385,244	前年度繰越金	¥3,936,039
合計	¥4,441,123	合計	¥4,441,123

平成 27 年度 予算　平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

科目	金額	科目	金額
（支出の部）		（収入の部）	
春夏合宿援助費	¥120,000	年会費	¥450,000
現役強化費	¥200,000	受取利息	¥5,000
コーチ交通費補助費	¥40,000	永峰氏寄付金より繰入	¥100,000
通信費	¥80,000		
麻布定期戦費	¥20,000		
文房具費	¥15,000		
事務費	¥50,000		
慶弔費	¥10,000		
幹事会費	¥5,000		
送金手数料	¥5,000		
新入生勧誘費	¥10,000		
排球部草創期活動記録印刷費	¥70,000		
小計	¥625,000	小計	¥555,000
次年度繰越金	¥3,315,244	前年度繰越金	¥3,385,244
合計	¥3,940,244	合計	¥3,940,244

平成 26 年度　永峰光雄氏寄付金特別会計収支報告書

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

科目	金額	科目	金額
（支出の部）		（収入の部）	
平成 26 年度予算に繰入	¥100,000		
小計	¥100,000	前年度繰越金	¥400,000
次年度繰越金	¥300,000	小計	¥400,000
合計	¥400,000	合計	¥400,000

平成 27 年度　永峰光雄氏寄付金特別会計予算

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

科目	金額	科目	金額
（支出の部）		（収入の部）	
平成 27 年度予算に繰入	¥100,000	前年度繰越金	¥300,000
小計	¥100,000	小計	¥300,000
次年度繰越金	¥200,000		
合計	¥300,000	合計	¥300,000

平成 20 年度分以降の予算及び収支報告書の修正について

平成 20 年度分以降の予算及び収支報告書において修正が判明しましたので修正前、修正後の報告書を掲載させていただきます。

平成 19 年に故永峰光雄氏（昭和 30 年卒）のご遺族よりご寄附いただきました 100 万円の会計処理に誤りがありました。

この寄付金については、特別会計を設けて毎年 10 万円づつ通常予算に繰り入れる形をとることになりましたが、平成 20 年度の予算作成時に‘永峰光雄氏寄付金特別会計開設‘（#印）の記帳をせずに会計処理を進めてしまいました。その後、一般勘定の現金残高について、会計担当である小生が各年度末の特別会計の支出の立替え処理を行い帳簿残高と一致させていたため発見が遅れました。

会員皆様からの大切な会費の管理に不手際がありまして誠に申し訳ございませんでした。

修正にあたり、前会計監事及び元会計の冨部直希先輩（昭和 43 年卒）、高塚義弘先輩（昭和 49 年卒）御両名によるチェック、確認のうえ修正処理をさせていただきました。

今後はこのようなことの無いように注意してまいります。

担当会計　関茂和（昭和 54 年卒）

修正前

平成 19 年度　収支報告書　　平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日

科目	金額		科目	金額
（支出の部）			（収入の部）	
春夏合宿援助費	¥120,000		年会費	¥527,000
現役強化費	¥80,000		受取利息	¥13,757
通信費	¥96,880		寄付金	¥1,000,000
荒川区大会参加費	¥14,000		（故永峰光雄氏ご遺族より）	
麻布定期戦費	¥20,000		雑費（記念ポロシャツ代）	¥11,000
城北定期戦費	¥10,000			
文房具費	¥18,492			
事務費	¥74,889			
慶弔費	¥10,500			
幹事会費	¥5,830			
送金手数料	¥4,550			
コーチ交通費補助費	¥66,980			
小計	¥522,121		小計	¥1,551,757
次年度繰越金	¥4,487,874		前年度繰越金	¥3,458,238
合計	¥5,009,995		合計	¥5,009,995

平成 20 年度　予算　　平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

科目	金額		科目	金額
（支出の部）			（収入の部）	
春夏合宿援助費	¥120,000		年会費	¥500,000
現役強化費	¥200,000		受取利息	¥12,000
コーチ交通費補助費	¥80,000		永峰氏寄付金より繰入	¥100,000
通信費	¥60,000			
荒川区大会参加費	¥20,000			
麻布定期戦費	¥20,000			
文房具費	¥20,000			
事務費	¥70,000			
慶弔費	¥10,000			
幹事会費	¥5,000			
送金手数料	¥6,000			
小計	¥611,000		小計	¥612,000
次年度繰越金	¥4,488,874		前年度繰越金	¥4,487,874
合計	¥5,099,874		合計	¥5,099,874

平成 20 年度　永峰光雄氏寄付金特別会計予算　平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

科目	金額		科目	金額
（支出の部）			（収入の部）	
平成 20 年度予算に繰入	¥100,000		入金	¥1,000,000
			（故永峰光雄氏ご遺族より寄付）	
小計	¥100,000		小計	¥1,000,000
次年度繰越金	¥900,000		前年度繰越金	¥0
合計	¥1,000,000		合計	¥1,000,000

平成 19 年度　収支報告書　平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日　**修正後**

科目	金額		科目	金額
（支出の部）			（収入の部）	
春夏合宿援助費	¥120,000		年会費	¥527,000
現役強化費	¥80,000		受取利息	¥13,757
通信費	¥96,880		寄付金	¥1,000,000
荒川区大会参加費	¥14,000		（故永峰光雄氏ご遺族より）	
			雑費（記念ポロシャツ	
麻布定期戦費	¥20,000		代）	¥11,000
城北定期戦費	¥10,000			
文房具費	¥18,492			
事務費	¥74,889			
慶弔費	¥10,500			
幹事会費	¥5,830			
送金手数料	¥4,550			
コーチ交通費補助費	¥66,980			
小計	¥522,121		小計	¥1,551,757
次年度繰越金	¥4,487,874		前年度繰越金	¥3,458,238
合計	¥5,009,995		合計	¥5,009,995

平成 20 年度　予算(**修正分**)　　平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

科目	金額		科目	金額
（支出の部）			（収入の部）	
春夏合宿援助費	¥120,000		年会費	¥500,000
現役強化費	¥200,000		受取利息	¥12,000
			永峰氏寄付金より繰入	¥100,000
コーチ交通費補助費	¥80,000			
通信費	¥60,000			
荒川区大会参加費	¥20,000			
麻布定期戦費	¥20,000			
文房具費	¥20,000			
事務費	¥70,000			
慶弔費	¥10,000			
幹事会費	¥5,000			
送金手数料	¥6,000			
#永峰光雄氏寄付金特別会計開設	**¥1,000,000**			
小計	¥1,611,000		小計	¥612,000
次年度繰越金	¥3,488,874		前年度繰越金	¥4,487,874
合計	¥5,099,874		合計	¥5,099,874

平成 20 年度　永峰光雄氏寄付金特別会計予算　平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

科目	金額		科目	金額
（支出の部）			（収入の部）	
平成 20 年度予算に繰入	¥100,000		入金（故永峰光雄氏ご遺族より寄付）	¥1,000,000
小計	¥100,000		小計	¥1,000,000
次年度繰越金	¥900,000		前年度繰越金	¥0
合計	¥1,000,000		合計	¥1,000,000

修正前

平成 20 年度　収支報告書　　平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

科目	金額		科目	金額
（支出の部）			（収入の部）	
春夏合宿援助費	¥120,000		年会費	¥439,000
現役強化費	¥203,843		受取利息	¥14,292
通信費	¥91,540		永峰氏寄付金より繰入	¥100,000
荒川区大会参加費	¥20,000			
麻布定期戦費	¥20,000			
城北定期戦費	¥23,775			
文房具費	¥10,592			
事務費	¥82,125			
慶弔費	¥0			
幹事会費	¥9,010			
送金手数料	¥2,160			
コーチ交通費補助費	¥67,550			
小計	¥650,595		小計	¥553,292
次年度繰越金	¥4,390,571		前年度繰越金	¥4,487,874
合計	¥5,041,166		合計	¥5,041,166

平成 21 年度　予算　　平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

科目	金額		科目	金額
（支出の部）			（収入の部）	
春夏合宿援助費	¥120,000		年会費	¥500,000
現役強化費	¥180,000		受取利息	¥15,000
コーチ交通費補助費	¥60,000		永峰氏寄付金より繰入	¥100,000
通信費	¥90,000			
荒川区大会参加費	¥20,000			
麻布定期戦費	¥20,000			
城北定期戦費	¥20,000			
文房具費	¥10,000			
事務費	¥75,000			
慶弔費	¥10,000			
幹事会費	¥5,000			

送金手数料	¥5,000			
小計	¥615,000		小計	¥615,000
次年度繰越金	¥4,390,571		前年度繰越金	¥4,390,571
合計	¥5,005,571		合計	¥5,005,571

平成 20 年度　永峰光雄氏寄付金特別会計収支報告書　平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

科目	金額		科目	金額
（支出の部）			（収入の部）	
平成 20 年度予算に繰入	¥100,000		入金	¥1,000,000
			（故永峰光雄氏ご遺族より寄付）	
小計	¥100,000			
次年度繰越金	¥900,000		小計	¥1,000,000
合計	¥1,000,000		合計	¥1,000,000

平成 21 年度　永峰光雄氏寄付金特別会計予算　平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

科目	金額		科目	金額
（支出の部）			（収入の部）	
平成 21 年度予算に繰入	¥100,000		前年度繰越金	¥900,000
小計	¥100,000		小計	¥900,000
次年度繰越金	¥800,000			
合計	¥900,000		合計	¥900,000

平成 20 年度　収支報告書**（修正分）**　平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

修正後

科目	金額		科目	金額
（支出の部）			（収入の部）	
春夏合宿援助費	¥120,000		年会費	¥439,000
現役強化費	¥203,843		受取利息	¥14,292
通信費	¥91,540		永峰氏寄付金より繰入	¥100,000
荒川区大会参加費	¥20,000			

麻布定期戦費	¥20,000		
城北定期戦費	¥23,775		
文房具費	¥10,592		
事務費	¥82,125		
慶弔費	¥0		
幹事会費	¥9,010		
送金手数料	¥2,160		
コーチ交通費補助費	¥67,550		
#永峰光雄氏寄付金			
特別会計開設	**¥1,000,000**		
小計	¥1,650,595	小計	¥553,292
次年度繰越金	¥3,390,571	前年度繰越金	¥4,487,874
合計	¥5,041,166	合計	¥5,041,166

平成 21 年度　予算　　平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

科目	金額	科目	金額
（支出の部）		（収入の部）	
春夏合宿援助費	¥120,000	年会費	¥500,000
現役強化費	¥180,000	受取利息	¥15,000
コーチ交通費補助費	¥60,000	永峰氏寄付金より繰入	¥100,000
通信費	¥90,000		
荒川区大会参加費	¥20,000		
麻布定期戦費	¥20,000		
城北定期戦費	¥20,000		
文房具費	¥10,000		
事務費	¥75,000		
慶弔費	¥10,000		
幹事会費	¥5,000		
送金手数料	¥5,000		
小計	¥615,000	小計	¥615,000
次年度繰越金	¥3,390,571	前年度繰越金	¥3,390,571
合計	¥4,005,571	合計	¥4,005,571

平成 20 年度 永峰光雄氏寄付金特別会計収支報告書 平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

科目	金額		科目	金額
（支出の部）			（収入の部）	
平成 20 年度予算に繰入	¥100,000		入金	¥1,000,000
			（故永峰光雄氏ご遺族より寄付）	
小計	¥100,000			
次年度繰越金	¥900,000		小計	¥1,000,000
合計	¥1,000,000		合計	¥1,000,000

平成 21 年度 永峰光雄氏寄付金特別会計予算 平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

科目	金額		科目	金額
（支出の部）			（収入の部）	
平成 21 年度予算に繰入	¥100,000		前年度繰越金	¥900,000
小計	¥100,000		小計	¥900,000
次年度繰越金	¥800,000			
合計	¥900,000		合計	¥900,000

会費納入のお願い

現役の支援及び会員の交流を柱とする OB 会の運営は OB 諸兄の会費で成り立っています。最近の現役の好成績も OB の皆様の陰ながらのご支援があってのことと思われます。年会費は社会人 4,000 円、学生 3,000 円です。社会人の場合、一括納入割引として 10,000 円の納入で 3 年分と計算させていただきます。平成 26 年度の会費が納入済みの方には納入状況をお知らせする紙を同封しております。平成 26 年度の会費が未納の方には振込用紙を同封しております。郵便局、銀行どちらからでも振り込みができますが、郵便局にて振込の場合、手数料はかかりません（OB 会負担）。納入していただいた会費を過去未納入分の会費に充当することは致しておりません。今年度より納入、として計算しています。なお、会費納入にもかかわらず、振込用紙同封の行き違いがございましたらご容赦願います。

振込先： 郵便局 口座番号：00100-0-50926 口座名：開成学園排球会 OB 会

又は

みずほ銀行稲荷町支店（店舗番号 090）口座番号：普通 1041691

口座名：開成学園排球会 OB 会

４．中学戦績

・ブロック大会(4 月 29 日)

(準決勝)vs 足立 14 中 2－1○

(決勝)vs 荒川 5 中 0－2●

→都大会出場決定

・都大会(5 月 3 日)

vs 東久留米西 2－0○

vs 羽村一中 0－2●

〈中学コーチより〉

中学 3 年生にとっては中学最後の大会でもある夏の都大会に出場することができ、強豪校とも善戦をしたものの、新チームでは秋の都大会出場を逃してしまったのでこのチームで都大会に出場することを目標としております。1 年生は人材が豊富でセッターを務めるものもいて、前衛後衛問わずどこからでも打ち込める攻撃力を武器とした面白いチームになってきています。より正確なボール裁きを目指し日々練習しており、この冬からは、練習のない月曜と金曜にも 30 分ほど自主的にボールに触れ、ボールへの感覚、特にカットを大事にしています。特に中学生の頃についた癖は治りにくいものなので、バレー理論上よいとは言えない動作や、必要な力が出ているかなどにも気を配りながら須藤先生のお手伝いができればと思います。　　H26 守屋

５．高校戦績

・新人戦(2 月 8 日)

vs 城北 2－0○

vs 日本学園 0－2●

vs 明大明治 2－1○

→関東予選ベスト 16 シード権獲得

・関東大会予選 1 日目(4 月 26 日)

vs 成城学園 2－0○

vs 独協 2－0○

vs 足立学園 2－0○

→2 日目進出決定

・関東大会予選 2 日目(4 月 29 日)

vs 文京 2－0○

vs 小松川 2－0○

vs 東亜 0－2●

・関東大会予選３日目(5 月 3 日)
vs 大森 0－2●
vs 日本学園 0－2●
→ベスト 16. 関東大会出場ならず

・春高予選(9 月 13 日)
vs 秋留台 2－0○
vs 南平 2－0○
vs 多摩目黒 1－2●
→ベスト 32

・新人大会１日目(11 月 8 日)
vs 学芸大附 2－0○
vs 武蔵野北 2－0○
→2 日目進出

・新人大会２日目(11 月 15 日)
vs 昭和第一学園 2－0○
vs 日大３高 0－2●

・新人大会決勝(1 月 31 日)
vs 多摩大目黒

〈高校コーチより〉
今年のチームは勢いに乗れば爆発力のあるチームです。高さがあり、攻撃力はかなり強いので、レシーブからいかに攻撃につなげられるかが大事になってきます。今年こそ関東大会出場の悲願を達成すべく、基礎をおろそかにすることなく、武器の攻撃にさらに磨きをかけていけるようサポートしていきたいです。 H27 上原

６．お知らせ

◎第３４回開成麻布定期戦を下記のとおりで開催いたします。詳細の用紙を別紙でお付けしました。皆様奮ってご参加ください。

・日程：2016 年 4 月 3 日

・時刻：10 時開会式

・場所：麻布高校体育館

７．創部 70 周年行事についてのお知らせ

我が開成学園バレー部は創部 70 年を迎えます。

戦後すぐに産声をあげ、現在まで連綿と途絶えることなく部員が揃い、また、昨今のバレーボール人気が低迷する環境のなかでも活発な活動を行っている現役は、関東大会出場を毎年狙えるところまできています。

この節目に際し、下記行事を予定しています。

●バレー部 70 周年記念式典及び栗原先生退官お祝い―2017（平成 29）年）秋開催予定

●部史発行

●新名簿作成

上記行事に際し、会員諸兄に原稿依頼、住所確認等ご協力をお願いすることがあるかと思います。その際は宜しくご協力の程お願いいたします。

↑　新年交流会の集合写真（2016 年 1 月 3 日）

開成学園排球部ＯＢ会会報第３４号

発行：平成 28 年 1 月

執筆：関（S54）、田沢（H9）

岡田(H24)